



次の100年も「優れた技術  
と最良のサービスの提供を  
通じて広く社会に貢献する  
産業機械メーカー」であり続け  
ます。

矢後夏之助

代表取締役社長  
矢後 夏之助

2012年3月期における事業環境は、海外では米国において失業率の高止まりや住宅価格の下落などがあるものの景気は緩やかに回復してきましたが、ヨーロッパでは継続する財政・金融不安から景気が減速しました。アジアでは、内需を中心に景気が堅調に推移していた中国、インドにおいて成長率の鈍化が見られました。国内では、東日本大震災の影響で遅れていた公共部門の投資が補正予算の効果で回復傾向に転じ、また民間部門においても震災を機に落ち込んだ設備投資が下げ止まりを見せ、景気は緩やかに持ち直してきました。

このような経済情勢のもと当社グループは、2014年3月期を最終とする3ヵ年の中期経営計画「E-Plan 2013」の1年目として、より確実で安定した事業構造の確立に向けてスタートしました。

この結果、売上は風水力事業および精密・電子事業における増加により増収となったものの、営業利益は各事業とも減益となり、売上高4,120億円、営業利益232億円、経常利益210億円、当期純利益28億円となりました。

1912年にポンプメーカーとして創業した当社は、本年2012年11月に100周年を迎えます。これもひとえに、皆様方の温かいご支援のたまものであり、改めて深く感謝申し上げます。

当社グループは、創業のポンプをはじめ、コンプレッサ、冷熱機器、焼却プラント、半導体製造装置などの事業を通じて、安全、安心で豊かな暮らしを支えてきました。そして次の100年も「優れた技術と最良のサービスの提供を通じて広く社会に貢献する産業機械メーカー」であり続けます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。